



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月12日

上場会社名 株式会社三洋堂ホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 3058 URL https://ir.sanyodo.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役最高経営責任者兼最高執行役員 (氏名) 加藤 和裕  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員人事総務部長 (氏名) 伊藤 勇 TEL 052-871-3434  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績 (2020年4月1日~2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	15,666	6.7	494	—	522	—	417	—
2020年3月期第3四半期	14,679	△3.5	△21	—	13	△54.3	△31	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 448百万円 (-%) 2020年3月期第3四半期 △28百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	57.29	—
2020年3月期第3四半期	△4.36	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	15,325	3,584	23.4
2020年3月期	14,794	3,136	21.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 3,581百万円 2020年3月期 3,136百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,600	3.2	460	202.9	500	141.1	140	—	19.22

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	7,400,000株	2020年3月期	7,400,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	116,606株	2020年3月期	116,606株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	7,283,394株	2020年3月期3Q	7,283,394株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響により、厳しい状況で推移しました。一時期は感染拡大の防止措置を講じつつ、段階的に経済活動を再開していく動きとなりましたが、感染者数が再度増加傾向に転じるなど依然として感染拡大の影響に留意する必要性があり、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境は、動画や音楽配信、スマートフォン等による時間消費の多様化の影響を受けております。このような経営環境のもと、当社グループは新本と古本を併売するハイブリッド型書店を核として、文具・雑貨などの販売部門を顧客のニーズの変化にあわせて展開するとともに、学びたい、健康になりたいといったニーズにあわせてフィットネス、教室等を併設した店舗を「ブックバラエティストア」として展開を進めております。

新型コロナウイルス感染症の影響では、外出の自粛やテレワーク等により自宅で過ごす時間が増え、巣ごもり需要や大ヒットしたコミックの影響から書店部門や古本部門、TVゲーム部門などの需要が増加いたしました。

当第3四半期連結累計期間においては、大垣パロー店(岐阜県大垣市)の移転を行いました。一方で、榛原店と西可児店を閉店したことから、当第3四半期連結会計期間末時点で75店舗3校となりました。また、6月に高浜Tぽーと店(愛知県高浜市)に「スポーツクラブアクトスWill\_G(ウィルジー)」を導入したことから、フィットネス導入店舗は11店舗となりました。9月には新開橋店(名古屋市瑞穂区)において、中古トレカの取り扱いを開始するとともに、デュエルスペースを備えた大型トレカショップをオープンいたしました。さらに、12月には三洋堂書店サイトをリニューアルオープンし、ECの強化、会員カードのデジタル化、会員限定クーポン発行等の販促機能を追加いたしました。これは、コロナ禍において、お客様がネットで情報収集してお得で便利な買い物を望む状況に対応するものです。今後はネットと店頭を連携する商品施策を柱に、よりお客様の望まれる提案を行ってまいります。

オペレーション面では、引き続き物販・レンタルを同時に取扱い可能な統合セルフレジを14店舗に導入し、セルフレジ導入店舗は60店舗となりました。また、新型コロナウイルス感染症への対応として営業時間の変更を実施し、閉店時間の短縮を21店舗で実施いたしました。また、当社グループは、新型コロナウイルス感染症対策として、お客様及び従業員の健康と安全を確保するため、マスク着用やソーシャルディスタンスの確保、レジ前の飛沫感染防止シートの設置等、安全に十分に配慮しながら商品・サービスを提供してまいりました。

主要な部門の売上高は、書店部門103億27百万円、文具・雑貨・食品部門15億46百万円、セルAV部門8億35百万円、TVゲーム部門6億10百万円、古本部門5億39百万円、レンタル部門14億1百万円、新規事業部門1億88百万円となりました。

増収部門としては、書店部門が12.1%増、文具・雑貨・食品部門が7.3%増、TVゲーム部門が21.5%増、古本部門が15.5%増となるなど、巣ごもり需要や好調なコミックの影響等もあり、増収となる部門が多くなりました。

減収部門としては、セルAV部門が13.5%減、レンタル部門が8.8%減、新規事業部門は新型コロナウイルス感染症の影響によりフィットネス店舗の営業自粛とそれに伴う会員数の減少の影響から、41.6%の減少となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高156億66百万円(前年同四半期比6.7%増)、営業利益4億94百万円(前年同四半期は営業損失21百万円)、経常利益5億22百万円(前年同四半期は経常利益13百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益4億17百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失31百万円)となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、当社グループの報告セグメントを単一セグメントに変更したため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は153億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億30百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加などにより流動資産が5億46百万円増加したこと、建物及び構築物の減価償却などにより固定資産が16百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては117億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ82百万円増加いたしました。これは主に、電子記録債務を含めた仕入債務が増加したことなどから流動負債が4億37百万円増加し、長期借入金の返済が進んだことなどから固定負債が3億54百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては35億84百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益4億17百万円を計上したことなどから前連結会計年度末に比べ4億48百万円増加いたしました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期(2020年4月1日~2021年3月31日)の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「2021年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,518,358	3,832,228
売掛金	287,742	360,892
商品	5,390,105	5,473,729
その他	270,717	346,871
流動資産合計	9,466,923	10,013,721
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,468,836	1,390,194
土地	2,082,910	2,082,910
その他(純額)	449,229	441,073
有形固定資産合計	4,000,976	3,914,178
無形固定資産	94,082	125,612
投資その他の資産	1,232,565	1,271,726
固定資産合計	5,327,624	5,311,517
資産合計	14,794,548	15,325,238
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,872,965	4,373,130
電子記録債務	—	3,033,302
1年内返済予定の長期借入金	514,044	492,656
未払法人税等	12,283	127,385
賞与引当金	46,993	21,935
ポイント引当金	117,140	103,450
資産除去債務	34,271	12,939
その他	553,942	424,045
流動負債合計	8,151,640	8,588,845
固定負債		
長期借入金	2,431,842	2,063,950
退職給付に係る負債	324,660	326,893
資産除去債務	611,855	606,253
繰延税金負債	66,598	74,610
その他	71,348	79,985
固定負債合計	3,506,305	3,151,693
負債合計	11,657,945	11,740,539

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,986,000	1,986,000
資本剰余金	1,721,244	1,139,163
利益剰余金	△554,076	445,294
自己株式	△100,520	△100,520
株主資本合計	3,052,648	3,469,937
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	71,814	95,773
退職給付に係る調整累計額	12,139	15,401
その他の包括利益累計額合計	83,954	111,175
非支配株主持分	—	3,586
純資産合計	3,136,602	3,584,699
負債純資産合計	14,794,548	15,325,238

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	14,679,925	15,666,551
売上原価	10,199,791	10,851,660
売上総利益	4,480,133	4,814,891
販売費及び一般管理費	4,502,043	4,320,809
営業利益又は営業損失 (△)	△21,909	494,082
営業外収益		
受取利息	5,647	1,312
受取配当金	5,744	4,302
受取保険金	6,775	2,512
排出権収入	7,721	—
補助金収入	—	8,835
その他	23,828	22,729
営業外収益合計	49,717	39,693
営業外費用		
支払利息	13,549	11,042
その他	536	572
営業外費用合計	14,086	11,614
経常利益	13,722	522,160
特別利益		
固定資産売却益	2,516	22,308
投資有価証券売却益	6,852	323
受取補償金	—	10,000
特別利益合計	9,368	32,632
特別損失		
固定資産除却損	348	0
差入保証金解約損	2,892	5,162
特別損失合計	3,241	5,162
税金等調整前四半期純利益	19,848	549,630
法人税、住民税及び事業税	9,332	125,967
法人税等調整額	43,038	2,786
法人税等合計	52,370	128,754
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△32,521	420,876
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)	△785	3,586
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	△31,735	417,289

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△32,521	420,876
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,346	23,958
退職給付に係る調整額	△1,576	3,262
その他の包括利益合計	3,769	27,220
四半期包括利益	△28,751	448,097
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△27,966	444,510
非支配株主に係る四半期包括利益	△785	3,586

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年6月23日開催の第43回定時株主総会の決議により、2020年6月23日付で、会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金582,081千円を減少し、同額をその他資本剰余金に振り替え、利益準備金20,000千円を減少し、同額を繰越利益剰余金に振り替えております。また、会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金582,081千円及び別途積立金700,000千円を減少し、同額を繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行いました。

なお、株主資本の合計金額には、著しい変動はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症については、感染症の広がりや収束時期の見通しが不透明な状況にあるため、不確実性が大きく将来の事業計画等に反映させることが難しい状況であります。

そのため、新型コロナウイルス感染症拡大前と同様の仮定を用いて固定資産の減損損失等の会計上の見積りを行っております。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化した場合には、将来の連結財務諸表に重要な影響を及ぼす可能性があります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。